

みなべ梅ラーニングコモンズ活動報告会

梅で健康①梅モググループ





みなべ梅ラーニングコモンズ

テーマ名: 梅で健康①梅モグ

課題	近年、町民の食卓で梅が使われる機会が減少し、梅文化が次世代に十分に引き継がれていない
目標	1. 梅を活用した健康促進 2. 地域コミュニティの活性化

令和7年度 活動実績	活動内容	成果	関係(連携)団体
	① 若梅会との交流会/4月24日/西本庄区民会館 若梅会の料理撮影風景見学、梅モグメンバーの料理、意見交換	参加者:11名 梅消費増進を目指した発信方法などの学習	若梅会
	② 滋賀県視察研修/8月29日/食まなび館 滋賀の食文化研究会の活動を視察し、鮎ずし作りを体験	参加者:20名 町内外の団体との交流関係構築	滋賀の食文化研究会、梅料理研究会、南部川生活研究グループ、農業振興協議会
	③ 郷土料理交流会/2月24日～25日/生涯学習センター等 滋賀の食文化研究会を招待し、梅料理等を食べながら意見交換	参加者:32名 町内外の団体との交流と学び	滋賀の食文化研究会、梅料理研究会、南部川生活研究グループ、農業振興協議会、若梅会

振り返りと今後の展望	令和7年度は、他団体と交流をすることで、お互いの活動を知るきっかけになった。 令和8年度も「知って、学んで、広げる」を活動指針に、町内外の団体との交流をとおして、地域コミュニティの活性等に取り組む。
------------	--

若梅会との交流会

若梅会のInstagram投稿用の撮影を見学し、意見交換を実施

目的: 他団体の活動を知ること町内の梅消費増進を目指した発信方法の学習をするため



若梅会の撮影風景



梅モグメンバーの梅料理



梅料理

滋賀県視察研修

滋賀の食文化研究会の活動を視察し、鮎ずし作りを体験

目的: 滋賀県で地域の食文化の継承に取り組んでいる団体「滋賀の食文化研究会」を訪問し、鮎ずし作り体験をとおして先進地の活動を学び、今後のみなべ町の梅文化の継承活動に活かすため



鮎ずしに関する説明
琵琶湖システムに関する説明



鮎ずし作り体験



鮎ずし作り体験



郷土料理交流会

滋賀の食文化研究会を招待して交流会を実施

目的:8月に作った鮎ずしの試食会と滋賀の食文化研究会を招待して交流会を開催することで、各団体の意見交換の場の提供と今後の活動に活かすため



梅料理のふるまい
交流会の様子



鮎ずし試食会



梅染め体験



令和8年度の活動について

- 他地域の伝統食に関して活動している団体への視察
- 地域コミュニティの活性
(町内の梅料理をする団体に梅料理を学びに行く)
- 梅料理教室の開催